



はいにんちょ。

松之山自治振興会広報紙

Vol. 61

2021年2月10日発行



謹賀新年

新年ご挨拶（コロナ禍の中で）

松之山自治振興会

副会長 中島健男

近年にない無い大雪の三が日はあつという間に過ぎ、災害救助法の適用になるほどの新年となりました。皆様お元気でお過ごしでしょうか。雪が降り止むまでじっと耐え、また雪に立ち向かう姿に、雪国に暮らす人々の力強さと根性を垣間見ることができます。

今年は国を挙げての東北大震災復興を願うオリンピックイヤーのはずですが、最近のニュースでは無観客やら、二たび延期といった情報が錯綜しています。何よりもその根源とも言える

コロナウイルスの蔓延が収束の兆しすら見えない中、ワクチン接種が一日も早く始まる事を願つてやみません。昨年来今までにない非日常が低下するのではないかと危惧しています。

松之山は全国的にも引けを取らない名湯有し、交流人口の増大やインバウンド事業の促進の核として十日町市の振興を担ってきました。今はそのスピードが鈍っていますが、新型コロナウイルスがいざれ克服される時を待つ我慢の日々となっています。今はその時に向け、これまでの自分を振り返り、今後の飛躍のための知識

の習得や、新しい分野への挑戦への充電期間と捉え、前向きに歩みたいものです。

自治振興会では新年度の「まちづくり事業」の募集を開始しますが、昨年に実施できなかつた事業のやり方を少し変え、三密を避けた分散形式をとるなどの工夫を行い、ぜひ多くの事業を実施していただきたいと思います。何もやらない非日常に慣れてしまうと、以前に戻ることは容易でないように思います。また地域の課題を掘り起こし、地域おこしに活かそうと実施した全世帯アンケートに基づき、二名の地域支援員を中心に次期地域自治推進計画策定作業が進められていますが、より多くの意見を計画に反映させる目的で、三つの部会が主体的に検討し提案したものとなります。

地域の皆様からも気軽にご意見、ご提案をいただける開かれた自治振興会を目指します。

最後になりましたが、今年一年が皆様にとって素晴らしい年となりますことを心より祈念し、年頭のご挨拶にさせていただきます。

新市合併から十六年が経過し、この間様々な公共施設の将来像が検証され、建て替えや耐震化工事、あるいは取り壊し撤去が行われてきました。

そのような中で、松之山公民館として活用している自然休養村管理センター（昭和五十二年建築）については、これまで地域として明確な将来像を検証した上での要望は行つていませんでしたが、先般十二月二十八日に市長を訪問し、正式な要望書として提出しました。

（写真参照）

自然休養村センター（松之山公民館）の耐震化要望書を提出



平成二十八年に松之山支所が現在の場所に移転となり、その跡地の利活用について検討を進めるにあたり、公民館施設をどうするかが大きな課題となりました。自治振興会では施設の規模や駐車場確保、隣接の松之山体育馆が指定避難所になっていることなどから、他の場所への移転は困難であり、これらの立地要件からここ以外の適地はあり得ないとし、地域の総意として現施設の存続要望書を提出することとしたものです。

自治振興会ではこれからも皆様が安心してご利用いただく拠点施設であり続けるよう、今後の市の対応を注視してまいります。

松之山を元気にしたい！

No.8



埼玉県春日部市出身の21歳。16歳の時に実家を出て、高校の3年間を天水越の親戚の家で過ごしました。卒業後は温泉街の旅館に就職し、昨年1月

に退職。一度埼玉へ戻ることになりましたが、縁あってお声掛けいただき、現在は布川地区の地域おこし協力隊として活動中です。

松之山に住み始めて六年目。田んぼに畑、竹かごや菅笠作り、山菜採り、雪山歩きなどが大好きな二十一歳です。そんな私ですが、最初から松之山の生活に憧れて移住を決めた訳ではありません。

中学二年生の五月に突然学校に行けなくなり、いわゆる不登校になりました。三年生になり高校は通信制のところに行こうと決めて調べているうちに、十日町に学校があることを知ります。天水越の親戚の家には小学校のころ夏休みに遊びに来ていた、何度も訪れたことがあります。高校について考えている頃の私は、とにかく家を出たいという気持ちでいっぱいでした。このまま家にいたら中学生の自分から抜け出せないという思いから、親戚の家にお願いをして三年間居候させていただくことになったのです。

松之山に住み始めて六年目。田んぼに畑、竹かごや菅笠作り、山菜採り、雪山歩きなどが大好きな二十一歳です。そんな私ですが、最初から松之山の生活に憧れて移住を決めた訳ではありません。

一年目は人見知りもあり、まずは環境に慣れることに必死でした。それがだんだんと農作業のお手伝いや集落の集まりに参加しているうちに、周りの人たちの温かさに触れてきます。なんでも体験してみたい！という私を快く受け入れてくれて、じゃあこれもやってみるか？と声をかけてくれる。

十五歳まで私の周りには、「大人」といえば両親か祖父母、学校の先生しかいませんでした。それが松之山に来たら、今の私では想像できないような生活を当たり前のように過ごし、今でも田畠を耕し作物を育て、松之山の暮らしを大切に思っている人がたくさんいました。私にとって松之山の人たちは、「生きることの楽しさ」を教えてくれた大恩人なのです。

そんな想いを胸に、昨年十一月に布川地区の地域おこし協力隊に就任しました。自分に何ができるか模索中ですが、三年後（協力隊任期）の松之山での暮らし

「心から、松之山に来てよかつた」という想いを胸に

布川地区地域おこし協力隊

吉田 春菜〔坪野在住〕



3年前に自作した「山笠」。現在も修行中。

2021 まちづくり事業募集

来年度取り組み事業の募集を行います。
補助内容等詳しいことは別紙案内をご覧ください。

新型コロナ感染症の拡大により、事業規模の大小にかかわらず集団活動の制限が続いている。昨年は何もできなかつたという団体も多かったと思います。今のところ新年度の見通しも難しい状況ではあります。新しい生活スタイルに考慮したやり方を工夫したり、このような状況だからこそできる事業もぜひともお考えいただきたいと思っています。

別紙案内に記載のとおり、本事業は地域内の団体が、地域づくり活動に取り組む際の多様な事業を対

象としており、各種イベント運営、交流活動、地域づくりのための調査研修、地域の歴史の調査や記録、文化芸術活動、ボランティア団体の視察研修などが該当します。

これまで対象となった事業例を下記に紹介しましたが、この他にもたくさんの事業メニューが該当になっています。

地域や団体の大小にかかわらず、やってみようという前向きな団体を支援する制度です。



縄文ノ和・黒倉（黒倉集落）

【左】醸す森と協力し、春祭りと新そば祭りを開催。直売と交流により地域の活性化を目指す。

【右】30年以上に渡り地域の若者が中心となって企画運営されている地域一大イベント



浦田地区芸能祭実行委員会（浦田全域）



中立山・中原懐かしい22世紀委員会

【左】地域の移住者と親交のある他の地域の移住者と企画した尺八の演奏会。

【右】歴史ある活動を続けている松之山野鳥愛護会が、子供たちを対象に企画した探鳥会。



松之山こども野鳥の会

- ・布川の賑わいプロジェクト（生演奏によるカラオケ大会など）
- ・ひのき屋ライブ in 松之山（プロのライブと子どもたちの交流）
- ・老人クラブ寿楽会の花壇整備（松之山交差点付近で活動中）
- ・下川手白寿会花いっぱい運動
- ・三緑会（三省）豚米衛祭（豚の半身焼きによる活性化イベント）
- ・若島会（天水島）秋祭り30周年記念事業
- ・下川手集落の軌跡（大正から昭和初期の子供たちの記録）
- ・天水越集落史編集事業 【他にもいろいろな事業があります】



【左】江戸から現代に至る古文書等を後世に残すため、村史として冊子にまとめた。

北浦田村史発行委員会

次期学区適正化方針説明会の総括に係る教育委員会の今後の対応について、一月七日の十日町市地域自治組織連絡協議会で報告されました。

令和元年五月に十日町市学区適正化検討委員会の答申を受けまとめた「第二次十日町市小・中学校の学区適正化に関する方針」について、同年七月から翌年二月までに各地域で開催した三十五回の説明会（七月八日の松之山自治振興会理事会で説明し、九月十日号はいこんちよで報告）での様々な意見を踏まえ、教育委員会としての考え方や今後の対応についての総括が報告されました。

注目される点は、統廃合を回避するアイデアを地域で考えて提案することができるのですが、これには小学校は一学年一学級以上の複式ではない形、中学校は一学年二学級以上というハードルがあり、実現には相当の困難を伴う課題となっています。

以前報告したように、まつのやま学園は今回の統廃合計画案には含まれていませんが、将来的に児童生徒数の減少が進むようであれば検討するとしています。

喫緊の課題は中学校の複式学級化の回避で、教育委員会が見込んだ令和十三年度からの複式学級の解消が図られる再編案を示されない場合は統廃合の対象となるとされています。

小学校は地域性を考慮し複式でもやむを得ないとしても、中学校が統合されること学園としての機能がなくなることになります。

この大きな課題に取り組むため、今年度よりミッショニ型地域おこし協力隊として配属された久保田智恵美氏が活動を開始しましたが、地域外からの児童生徒を受け入れるためには地域あげての対応が必要になります。自治振興会でも力を入れていきますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

◆ ◆ ◆

※各会場から出された意見と回答
教育委員会ホームページでご覧いた
だけます。

松之山まちづくり応援寄付金をいただきました。【R2.11/1～12/15まで】

お名前（順不同）	ご寄付金額
瀬戸市：志賀尚子様	10,000 円
文京区：早川敏様	30,000 円
新宿区：木村光子様	30,000 円



いつもふるさと松之山を想っていただきありがとうございます。ご支援に厚く御礼申し上げます。

◆編集後記◆

□松之山らしい冬景色になりました。近所の相沢さんのお宅には、お母さんととても仲の良い「村山さん」という名前の猫がいます。いつも二人（？）で話かけながら散歩している姿が、とても微笑ましく心が和みます。ある冷え込んだ夕方、塩まき車の通過した後の村山さんは、肉球をなめたり振ったり大変。塩分のとりすぎは体に悪いよ！と言ひながらも笑ってしまいました。ごめんなさい。

K.Nakajima

おしゃせ 野鳥こけし作り体験会 ～開催予告～

期日：3月21日（日）

時間：午後1時30分より 料金：無料

募集人数：20名 鳥種はアカショウビンです。

※コロナ禍の状況を見据えながら、3月10日に詳細案内を回覧しますが、それまでに予約は可能です。

松之山自治振興会 事務局

<https://www.facebook.com/hai.koncho>

〒942-1406 新潟県十日町市松之山1597-2（松之山支所 地域振興課内）

☎:025-596-3131 fax:025-596-3515 E-mail: m_jichishinkoukai@yahoo.co.jp

【松之山の人口 1月末】総人口1,816人（男863人 女953人） 世帯数：810世帯

（総人口 前月比：-4人 世帯数 前月比：-1）